福島県立図書館 東日本大震災福島県復興ライブラリー

ブックガイド

No. 12 2015.1.16

■文学 体験記

『語りつぐ 小さな町を呑みこんだ巨大津波』

やまもと民話の会/編さん 小学館 2013.3 369.31/ヤマ 133

「やまもと民話の会」(宮城県山元町)の冊子「小さな町を呑みこんだ巨大津波」(全3集)をまとめたもの。自らが被災しながらも、会員たちがその足で集めた証言集。生の声だからこそ、未来に残すことでその体験は教訓となり、未来のふるさとを支えるのものとして生き続けます。まさに地域をつなぐ絆がここにあります。

『虹の向こうの未希へ』

遠藤美恵子/著 文藝春秋 2014.8 916/エミ 148

南三陸町の防災対策庁舎から防災無線で避難を呼びかけ続け、津波で命を落とした遠藤未希さん。母である美恵子さんが震災当日から 2014 年 7 月に民宿「未希の家」をオープンさせるまでの心情を綴った手記です。娘を亡くした喪失感は時間が経過しても軽くはならないということが痛いほど伝わってきます。津波の恐ろしさ、命の大切さを伝えるために筆をとった美恵子さんの思い。震災を忘れてはいけないと改めて感じさせられます。

■農林水産業 動物

『食と農でつなぐ 福島から』

塩谷弘康, 岩崎由美子/著 岩波書店 2014.8 612.126/シヒ 148

阿武隈地域で農業生産物の直売や加工品販売を手がけてきた女性農業者が本書の主役。彼女たちの「食と農でつなぐ」挑戦に焦点をあて、福島の未来を展望します。具体的な取り組みの紹介やインタビューを通じ、小さくてささやかな希望がいかに大切なものであるかに気付かされます。食と農、生きることと働くこと。その営みでもって様々な思いをつなぐこと。「かーちゃん」たちの活躍に元気をもらえる一冊です。

■復興 防災

『災害時に役に立つ物や心のデザイン 100人のデザイナーがつくる』

JPDA 展覧会委員会/企画・編集 六耀社 2014.5 369.3/ニホ 145

本書は各方面で活躍するデザイナー達が提案する「もしも」の時に役立つグッズを衣・食・住・心の 4 つに分けてまとめたものです。デザイナーならではの感性でつくられた機能性だけでなくデザイン性も兼ね備えたグッズが紹介されています。非常時だからこそホッとできる、クスッと笑えるものを。日常から切り離された状況でどのようにデザインが役立つのか、デザインの力を感じることができます。

■こども向け

『あさになったのでまどをあけますよ』

荒井良二/著 偕成社 P/アリ

さまざまな土地に住む人の朝が描かれた絵本です。朝起きて窓を開けると、いつもと変わらない風景がそこにあります。「あさになったのでまどをあけますよ」の言葉とともに、山に住む人、街に住む人、川辺に住む人、海辺に住む人、それぞれが毎日見ている家からの景色が広がります。「ここがすき」と思う場所で、いつもの朝を迎えられることのよろこびが力強く描かれています。

『いのちの時間 いのちの大切さをわかちあうために』

ブライアン・メロニー/作 ロバート・イングペン/絵 藤井あけみ/訳

新教出版社 1998.11 P/4 ※児童書庫

震災以前に発行された「いのち」の絵本です。1998 年に出た本ですが、今も古びていません。

本書のタイトルである「いのちの時間」とは、いのちのはじまりとおわりの「まん中」に満ちている時間のことです。木は百年以上、蝶は数週間、と真実をそのまま伝える印象的な詩で、今この時も地球上を巡る時間について考えることができます。美しい絵にも注目したい、読みごたえのある絵本です。

■その他のジャンル

『アノヒカラ・ジェネレーション 東日本大震災と東北の若者』

笠原伊織/著 藝術学舎 2014.7 369.31/カイ 147

「あの日」18歳だったあなたに。

この本は、「あの日」18歳だった著者が、同じく東北に住む同年代の若者へのインタビューをまとめたものです。著者が、同年代という同じ視線で見た「あの日」を共感することで、話者が家族や他人とは話せない心の内を、等身大の語り口で表すことができたのだと感じました。「アノヒ」と「アノヒカラ」で構成され、震災が東北の若者たちに与えた様々な影響を垣間見ることができます。

『福島へ/福島から 福島民報日曜論壇 2004-2013』

赤坂憲雄/著 荒蝦夷 2014.2 LS914.6/A4/1

平成 26 年 10 月 25 日、当館講堂で赤坂氏の文化講演会が開催されました。その時の内容を回想しながら読むのにふさわしい本だと感じました。

県立博物館館長であり、民俗学をベースとして東北学を提唱する著者のエッセイ集。初出は 福島民報「日曜論壇」で、そちらに加筆訂正されたものです。

タイトルの『福島へ/福島から』は、3.11 が大きな時の裂け目になったことを表しているようです。